

報告第 1 号

平成 25 年度事業報告

障害者支援施設天北厚生園は、利用者の高齢化が徐々に進み生活支援員の人員配置、又は多機能型事業所 DO の就労支援事業にも課題を残しつつも、一体型共同生活事業所すまいるとともに非常に安定した経営となっている。

養護老人ホーム長寿園及び特別養護老人ホーム長寿園は、利用者の重度化による大幅な稼働率の低下、介護職員など人員配置の問題、更に今年度、特に在宅サービス利用者の施設への入所が多く、在宅サービス事業の極端な稼働率の低下により減収、大変厳しい決算となった。

当法人が運営する各事業、決算の概要は次の通りとなります。

一般会計における各経理区分の状況について、本部経理区分は、各事業から運営費を繰り入れることにより運営、養護老人ホーム経理区分 利用者の重度化による支援員の加配により△9,280 千円、特別養護老人ホーム経理区(短期入所事業を含む。) 昨年同様、平成 24 年度介護報酬改正、利用者の重度化による大幅な減収により△893 千円(10,000 千円積立金取り崩し)の決算となった。

一方、障害者支援施設経理区分は、△2,420 千円(30,000 千円 修繕積立金へ)、一体型共同生活事業所経理区分 323 千円(2,017 千円 修繕積立金へ)、多機能事業所経理区分 1,473 千円と修繕積立金及び繰越金を計上する決算となった。

高齢者の在宅事業は、特に利用者の施設への入所が多く大幅な稼働率の低下となり、デイサービスセンター経理区分 △3,301 千円、居宅介護支援事業所経理区分 △5,847 千円の支出超過、ただし、訪問介護サービスセンター経理区分パート職員の退職により 445 千円(町へ委託料の清算)の決算となった。

平成 25 年度社会福祉法人南宗谷福祉会一般会計決算の繰越金(総額) 2,577,340 円は、次会計年度に繰り越すこととなります。

平成 25 年度社会福祉法人南宗谷福祉会が運営する事業の概要を、次の通り報告いたします。